

## 再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課  
担当課長名：荒瀬 美和

事業名	地高ICアクセス 市道 茂平148号長瀬苜無線 茂平工区	事業区分	地方道	事業主体	笠岡市
起終点	自：岡山県笠岡市茂平 至：岡山県笠岡市茂平			延長	0.3km
事業概要					
市道茂平148号長瀬苜無線は、地域高規格道路倉敷福山道路の一部で事業中である笠岡バイパス笠岡西IC（仮称）と県道井原福山港線を結ぶ延長約0.3kmの幹線道路である。 笠岡バイパスの整備と一体となり、渋滞緩和、物流支援等に大きく寄与する道路である。					
H31年度事業化		H13年度都市計画決定		R2年度用地着手	
R2年度工事着手					
全体事業費	約11億円	事業進捗率	約6%	供用済延長	— km
計画交通量	35,900台/日				
費用対効果	B/C (事業全体) 10.9 (残事業) 11.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 10/11億円 事業費：10/10億円 維持管理費：0.23/0.23億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 116/116億円 走行時間短縮便益：109/109億円 走行経費減少便益：5.6/5.6億円 交通事故減少便益：0.72/0.72億円	基準年 令和3年	
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C=9.8~11.9 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=10.2~12.4 (交通量±10%) 事業費：B/C=10.0~12.1 (事業費±10%) 事業費：B/C=10.3~12.6 (事業費±10%) 事業期間：B/C=10.5~11.4 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=10.9~11.4 (事業期間±20%)					
事業の効果等					
① 地域間連携の支援 岡山県南生活圏中心都市（岡山市、倉敷市）へのアクセス性が向上し、交流・連携の促進が期待される。					
② 地域経済の支援 笠岡市、福山市臨海部の工業地帯と笠岡バイパスを連絡し、地域経済の活性化が期待される。					
③ 地域防災の支援 第二次緊急輸送道路の強靱化が期待される。					
関係する地方公共団体等の意見					
・地元笠岡市長を会長とする国道2号玉島笠岡間整備推進協議会（笠岡市、倉敷市、浅口市、里庄町、及び各議会）から毎年早期整備を要望されている。					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等					
国道2号笠岡バイパスの開通時期が令和2年1月に令和7年度と公表された。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地進捗率40%、事業進捗率約6%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
今後は、用地の取得に努めるとともに、早期完了を目指し、道路改良工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等					
今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

